

定時制通信制高等学校北部地域再編活性化協議会中間まとめ

平成19年3月19日

1 協議の経緯

〔平成17年度〕

第1回協議会(平成18年2月21日): 高校再編活性化計画等の説明, 各校から現状報告等

〔平成18年度〕

第1回協議会(平成18年7月24日): 協議会の年間計画, 各校の現状の具体的把握等

第2回協議会(平成18年11月1日): アンケート調査結果の報告, 検討すべき課題等

第3回協議会(平成19年1月22日): 先進地視察報告, 定通ネットワークの4パターン等

第4回協議会(平成19年3月19日開催予定): 中間まとめ(案), 今後の検討テーマ

2 再編活性化第二次実施計画が示す北部地域に係る定時制・通信制教育の検討課題

(1) 定通ネットワーク拠点校の整備

(2) 統合を視野に入れた教育システム及び教育内容の改善充実の検討

桑名高校と北星高校, 神戸高校と亀山高校

(3) 四日市工業の工業関連学科の整理

(4) eラーニング等ITを活用した新しいシステムの研究

3 アンケート調査等による現状と課題

(1) 北星高校以外は定通併修の利用が少ないこと。

利用しやすい定通併修制度への改善が必要であること。

(2) 各校に共通した課題(多くの生徒が理解しにくい教科・科目の存在, キャリア教育等)があること。

学校間の連携・協力体制を整備する必要があること。

(3) 定時制・通信制で学ぶ生徒(日本語指導が必要な外国人生徒等を含む)は, 極めて幅広い学習ニーズを有していること。

教員数の少ない夜間定時制単独校で対応するには限界があること。

4 県外先進地調査報告による検討課題

(1) 調査実施校

東京都における新しいタイプの高校(都立一橋高校)

神奈川県における新しいタイプの高校(県立厚木清南高校, 県立川崎高校)

兵庫県における協力校(県立網干高校, 県立青雲高校等)

(2) 検討すべき教育システム

自校スクーリング形式の定通併修システム

全日制に併設された定時制の新しい教育システム

5 課題の整理

(1) 定通併修制度の整備拡充(協力校方式, 定通ネットワーク拠点校の機能の充実等)

(2) 学校間の連携・協力体制の充実(教科指導やキャリア教育等の充実)

(3) 生徒数が少ない夜間定時制(全日制に併設された定時制の今後のあり方の検討)

6 今後の検討テーマ(案)

- (1) 北部地域における定通ネットワークの具体的姿の構築
 - 北部地域定通ネットワークの4パターンの具体的検討 -
 - 後期からのBパターンの具現化に向けた取組
 - Cパターンを実施するうえでの課題の整理
 - その他(他のパターンの検討等)
- (2) 再編統合を視野に入れた新しい教育システム及び教育内容等の研究
 - 新しいタイプの全定併設校のあり方の研究 -